



羅針盤

2014年度 第15号
都立豊多摩高等学校
進路図書部
2014.1217



寒なくなってきました。これから冬休みにかけて、時間にゆとりができたが外には出たくないという人は、ぜひ読書をしましょう。本校図書館委員会から「ぱびるす」で、お勧めの本が随時紹介されています。ぜひ参考にしてください。

それ以外にもお勧めは無いかと思い、ネット検索してみたところ、北海道学校図書館協会というところが、「平成 26 年度北海道青少年のための200冊」というものをHPに発表していました。以下に一部を紹介してみます。



エンジェルフライト 国際霊柩送還士	佐々涼子	集英社	1,500
幕が上がる	平田オリザ	講談社	1,300
七帝柔道記	増田俊也	角川書店	1,800
島はぼくらと	辻村深月	講談社	1,500
英国一家、日本を食べる	マイケル・ブース	亜紀書房	1,900
吉永小百合、オックスフォード大学で原爆詩を読む	早川敦子	集英社	700
さようなら、オレンジ	岩城けい	筑摩書房	1,300
はなとゆめ	冲方丁	KADOKAWA	1,500
誕生日を知らない女の子 虐待—その後の子どもたち	黒川祥子	集英社	1,600
あん	ドリアン助川	ポプラ社	1,500
あ い 永遠に在り	高田 郁	角川春樹事務所	1,600
天、共に在り アフガニスタン三十年の闘い	中村 哲	N H K 出版	1,600

実は、この最後の中村哲氏の話、3年生はリーディングの教科書で読んだばかりです。私自身は正直に言うと他の本は全く知らないものばかりなのですが、皆さんは如何でしょうか？書店や図書館の本棚の前で「どれか一冊読んでみようかな」と時を過ごすのも楽しいですよ！



昨年も今頃の羅針盤にインフルエンザ予防接種の話を書いたのですが、今年はもう流行が始まってしまったそうです。私は先日注射をしてきました。予約が必要で料金は¥3,000でした。予防接種で感染を防ぐことは出来ませんが、感染しても発症しにくくしたり、発症したときの症状を緩和させる効果はあるようです。ワクチンの予防効果が期待できるのは、接種した2週間から5カ月程度だそうです。ところで高校生でも注射が怖い人はいるのでしょうか？つい先日のニュースで、芝浦工業大学が、針を使わずに気泡の圧力で試薬や遺伝子までも体内に届けることのできる、新しい「針なし注射器」の開発に成功したそうです。怖がりの人には朗報ですね！





3年生の皆さんには、いよいよ出願の時期が迫ってきました。担任の先生と熱心に面談している様子を毎日見かけますし、保護者の方とも相談が進んでいることと思います。私からも、出願についてのアドバイスをいくつか書いてみます。



1. 国公立大出願の注意点

(1) 複数パターンの受験日程の想定

第一志望だけを目指す志も大事ですが、センター試験の得点が予想と大きく離れて上回った／下回った 場合の対応も一応考えておきましょう。

(2) 私大センター利用受験での「合格確保校」の検討

あくまで国公立志望でも、早い時点で合格校を確保しておくことで予想外に落ち着いて本命の受験ができるという効果が期待できます。センター利用であれば、個別入試の対応も必要ないので、一度は検討してみましょう。

(3) 後期に向けての心構え

出願時点で第一志望校と同様に後期に向けても慎重に検討しましょう。前期と比べての科目数の減少や変化などに注意すること。前期が終わってから準備を始めるのではなく、始めから3月までの勉強計画を作ること。「なかなか受験が終わらない」ではなく、「半月余計に準備できる」と前向きに取り組むこと。周囲の私大合格者の動きに惑わされないように自分をしっかり持ちましょう。

2. 私大出願の注意点

(1) 併願校の絞り込み

「目標校」「実力相応校」「合格確保校」をバランス良く受験するのが理想です。この三つについてそれぞれ2～4校程度リストアップしてから、絞り込んでいくのが良いと思います。第一志望の学部以外にも、その学部と比較的近い内容の講義が受けられる学部も検討してみるべきです。また、合格確保校と言っても実際に進学する可能性はあるので、難易度ばかりで選ぶのではなく、「自分が通う大学」として真剣に選ぶ姿勢が必要です。

(2) 受験日程の計画

受験要項をていねいに確認しながら日程を検討しましょう。複数受験日から選択できる制度や、同一大学の複数学部受験には受験料を割り引く制度など、便利なものも多いようです。日程的には、2連戦は仕方なくても、3連戦以上はできるだけ避けたいところでしょう。第一志望校にベストコンディションで臨めるように計画しましょう。併願の日程を検討していく際には、試験日だけでなく、入学手続き締切日もよく確認して、できるだけ無駄な出費を避けるように計画しましょう。

(3) センター利用の考え方

合格最低点は相当高くても、「目標校」や「実力相応校」の合格可能性を増やしておくという考え方もあるし、「合格確保校」を個別試験なしで確保しておくという考え方もあります。いずれにしても、出願締め切りがセンター受験よりも前に設定されているケースがあるので、可能性を広げて考えておくことが必要です。

★最後に：とにかく大事なことは、あくまで「目標校」つまり第一志望校を目指し続けること。現役生の実力はこれから2～3か月でまだまだ伸びます！自分の可能性を信じて頑張ってください。

以上